



学校だより

令和 3年 2月 15日

練馬区立田柄第二小学校

校長 谷 田 弘 子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-ky.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-ky.ed.jp

教育目標:元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.519

令和2年度 教育活動アンケートの結果報告

12月に保護者の皆様にご協力いただきました「教育活動アンケート」についての結果をご報告させていただきます。また、同時期に全校児童に対して行いました「授業と生活についてのアンケート」、教職員に行いました「学校評価アンケート」についても合わせてご報告いたします。

★グラフは以下の項目で表示しています。



★各質問に対するアンケートの項目及び結果は、以下のように表示しています。

質問番号

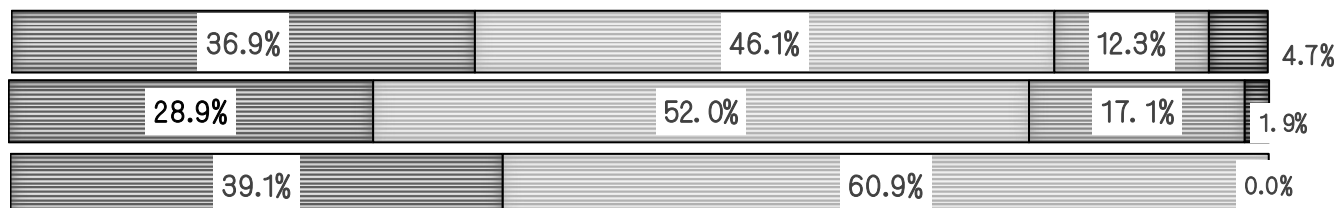
上段 児童のアンケート質問項目
中段 保護者アンケート質問項目
下段 教職員アンケートの質問項目

上段	児童のアンケート結果	(回収率99.1%)
中段	保護者のアンケート結果	(回収率94.8%)
下段	教員のアンケート結果	(回収率100%)

① 授業に積極的に参加している。

子供は、学習に積極的に取り組んでいる。(家庭学習を含む。)

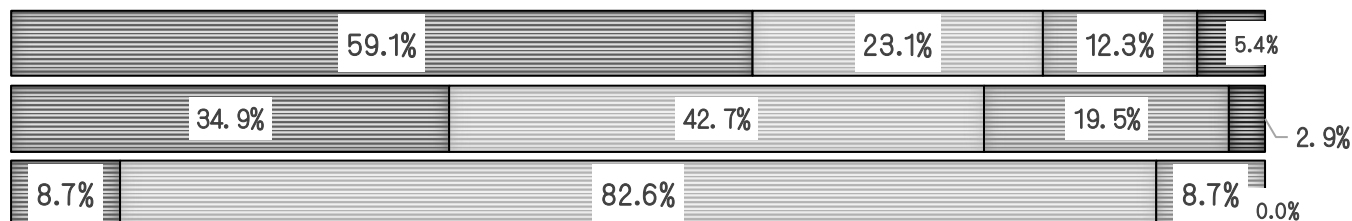
子供たちが学習活動に積極的に取り組むように、授業や宿題等を工夫している。



② 運動や外遊びを積極的に行っている。

子供は、運動に積極的に取り組んでいる。

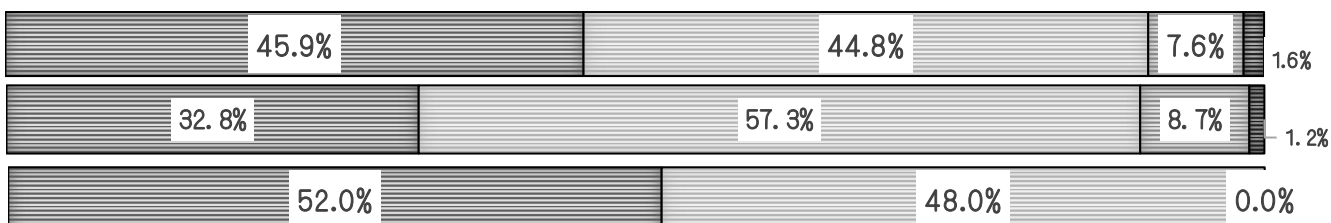
子供たちが運動や外遊びに積極的に取り組むように、日頃から心がけて指導している。



③ 学校のルールを守ることができる。

子供は、学校のルールや家庭のルールを守ることができる。

子供たちが学校のルールや家庭のルールを守ることができるように、日頃から心がけて指導している。



④ ダンスフェスティバルや学芸会、なかよし学級などの行事に参加して、自分が成長したと感じている。

ダンスフェスティバルや展覧会、なかよし学級などの行事を通して、子供が成長したと感じる。

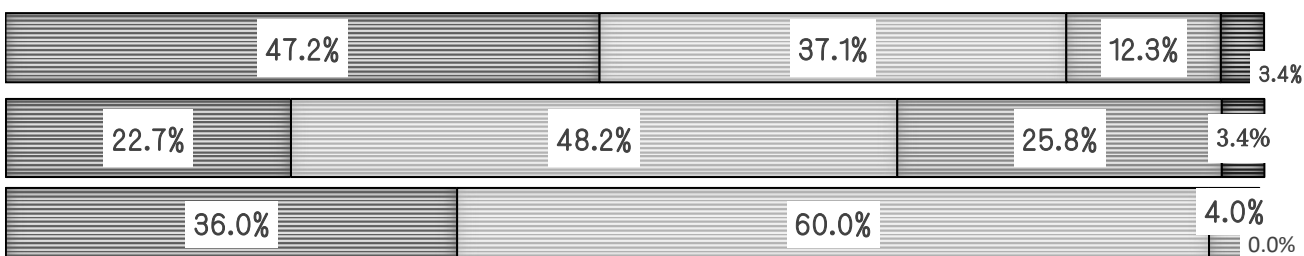
ダンスフェスティバルや展覧会、なかよし学級などの行事を通して子供たちを育てようと心がけて指導にあたっている。



⑤ 先生や主事さん、友達に自分からすすんで、元気よくあいさつすることができる。

子供は、自分からすすんで、元気よくあいさつすることができる。

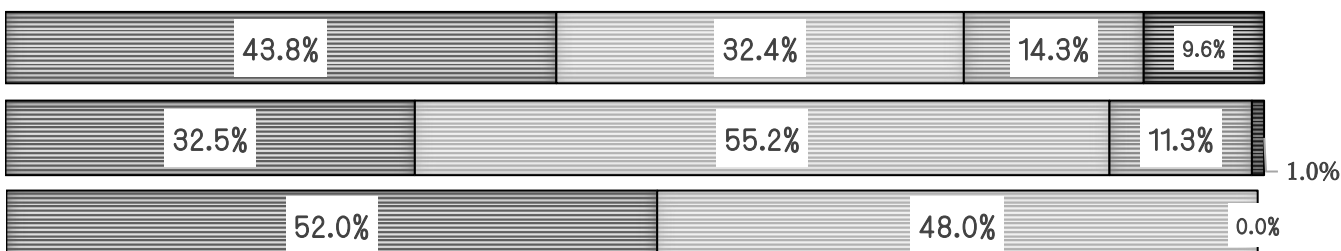
子供たちが、自分からすすんで、元気よくあいさつすることができるように、日頃から心がけて指導している。



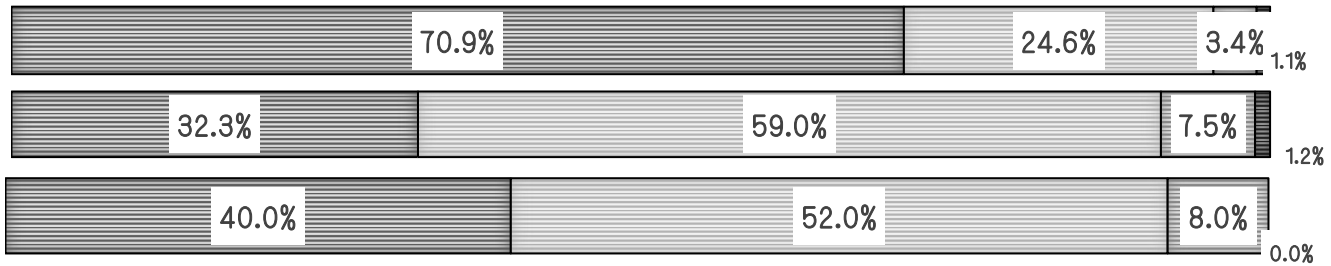
⑥ なやんだり、こまったりしたことがあるときには、お家の方や先生に相談することができる。

子供は、なやんだり、こまったりしたことがあるときには、お家の方や先生に相談することができる。

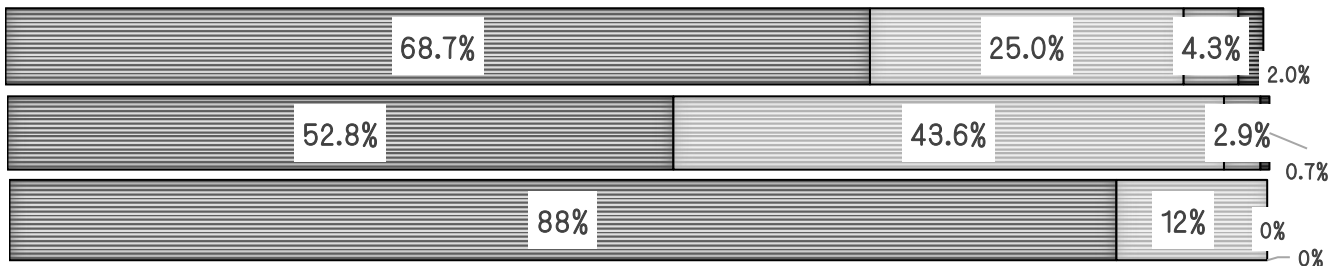
子供たちの悩みに気付けるように、日頃から心がけている。また、親身になって子供たちの相談にのっている。



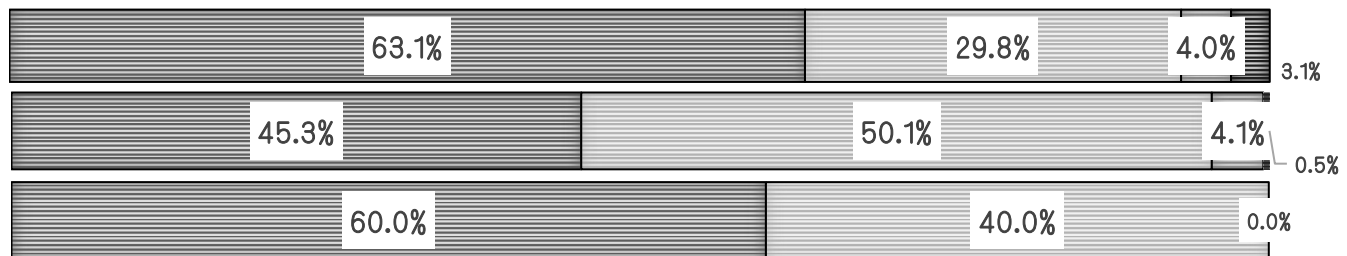
- ⑦ 「自分の命は自分で守る」ために、安全に気を付けて生活することができる。(感染症予防を含む)
 子供は、「自分の命は自分で守る」ために、安全に気を付けて生活することができる。(感染症予防を含む)
 子供たちが、「自分の命は自分で守る」ために、安全に気を付けて生活できるように、指導している。(感染症予防を含む)



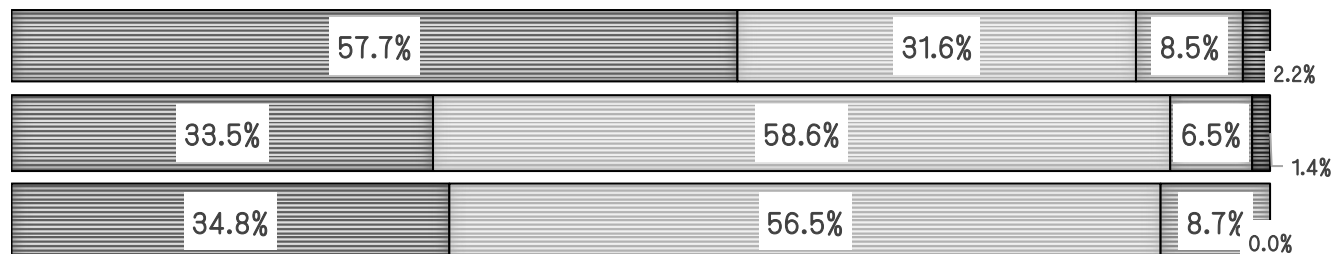
- ⑧ いじめのない明るい学級にしようと努力している。
 子供は、いじめを絶対にしないように努力している。
 いじめは絶対に許さないという態度で指導を行っている。また、いじめが起きたときには速やかに対処している。



- ⑨ 友達のよいところを認め、誰とでも仲良くしようと努力している。
 子供は、友達のよいところを認め、誰とでも仲良くしようと努力している。
 子供たちが、友達のよいところを認め、誰とでも仲良くできるように、日頃から心がけて指導している。



- ⑩ 忘れものをしないように努力している。
 教育活動に関する必要な情報を学校から受け取っている。
 教育活動に関する必要な情報を、適宜、家庭に発信している。



4 来年度に向けて

⑤「先生や主事さん、友達に自分からすすんで、元気よくあいさつすることができる」の設問に関して

保護者の方の回答で「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が 29.2%と最も低い評価となっています。この結果は昨年度と比べて5ポイント増えていて、あいさつが不十分であることが明確となりました。自由記述欄にもいくつかあいさつができないことについてのご指摘がありました。児童の回答も（同）15.7%となっており、こちらも昨年度より増加しています。

今年度、田柄第二小学校では昨年度からの引き続きの課題としてあいさつを重視してきました。しかし、コロナ禍において大きな声を出すことを禁じられている場面が多くあり、十分な指導に至らなかったことが大きな原因と考えられます。今後は社会的な距離を保ちながら、あいさつをすることの大切さを伝えていきたいと考えています。あいさつは人間関係を築く第一歩です。引き続き指導を重ねて参りますが、ご家庭でもお声掛けくださいますようお願いいたします。

⑦「『自分の命は自分で守る』ために、安全に気を付けて生活することができる（感染症予防を含む）」の設問に関して

保護者の方の回答で「そう思う」「ややそう思う」の合計が 90%を超える結果となりました。また児童の回答も（同）95.5%となっており、昨年度と比べると児童が 0.5 ポイント、保護者の方が 4.3 ポイント増加しています。今年度は3密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つなど新型コロナウイルス感染症予防を徹底して行ってきました。保護者の皆様には緊急の対応をお願いすることが多くありましたが、その都度臨機応変にご対応いただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症はまだまだ長引くことが予想されます。学校では、引き続き、感染症予防に対する児童への指導を行っていきます。練馬区のガイドラインに則り、より安全・安心な学校となるよう努めていきます。今後はよりゆとりをもったご連絡ができるよう、可能な範囲で取り組みます。

また、自由記述欄に Zoom を用いた学習方法やオンラインでの連絡及び欠席連絡についてのご指摘がありました。田柄第二小学校でも、オンラインを活用した学習はとて有効な手段であると考えています。こちらに関しては、練馬区の方針に則りながら、先日配付されましたタブレットの扱い方と合わせて検討を重ねてまいります。今後変更があった場合には、改めてお知らせします。

⑧「いじめのない明るい学級にしようと努力している」の設問に関して

保護者の方の回答で「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計は 3.6%、児童の回答は（同）6.3%となっており、昨年度と比べると保護者の方は 0.1 ポイント減少、児童は 1.5 ポイント減少となっています。日頃より児童が互いのことを思いやろうとしている姿勢の表れで嬉しく思います。

練馬区では、いじめ一掃のために様々な取組を行っています。取組の一つに年に3回行うアンケート調査があります。教職員は児童の観察を常に行い、いじめがないかの確認をしているところですが、見落としを防ぐためのアンケート調査です。今年度、各学級でいじめについて話し合うと共にいじめの標語を作りました。どの学級の標語にも、児童の素直な気持ちが表れていました。少しずつそれらの取組により児童の意識が変わり、いじめをなくそうとする姿勢につながっていると思います。

一方、⑥「なやんだり、こまったりしたことがあるときには、お家の方や先生に相談することができる」という項目では、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が 23.9%、保護者の方が 12.3%となりました。自由記述欄にも相談する環境が十分でないというご指摘をいただきました。困ったことがあった時や悩んでいる時にいつでも相談できる環境を作り、児童がSOSをすぐに発信できるような体制を学校全体として作り上げていけるように今後も全教職員で取り組んでいきます。また、児童の気持ちに寄り添った指導ができるよう、一層の努力をしてまいります。

*自由記述欄にさまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。検討させていただき、実行可能な内容は、今後の教育活動に生かしてまいります。

